



8月号では、コミュニティ・スクール（学校運営協議会/以下CS）と地域学校協働活動について解説をしました。9月号・10月号では、実際に市内の活動を2校から紹介します。

＜河合小学校地域学校協働本部
地域活動部部长 林志保＞
～リアルな体験を通して
自分から動く力を養う～

河合小学校の地域学校協働本部は、主に学校行事や総合的な学習の時間の地域との接続を担う「学校支

援部」と、学校外の活動において河合町のさまざまな人と関わり地域資源を活用した学びの機会を創出する「地域活動部」に分かれています。

今回は地域活動部で行っている活動と目的をお話します。

まず大切にしているのは、学校外の活動でも学校の教育目標を主軸として活動を行うことです。同校教育目標の「自ら動き仲間とともに高め合う子」を育むために、地域側からはどんな働きかけが大切か、どんな地域での機会があるとより子どもの成長につながるか、を考えCSの会議や地域活動部で検討しています。

コロナ禍で地域での活動が制限される中で、オンライン授業配信の協力や子どもと地域の人が交流をする「多世代交流サロン」、講師を招いた土日の体験学習会などを実施してきました。

子どもたちが学校で学んだことを

実際に地域で活かす場、学校ではできないことに挑戦する場として、放課後や夏休みを活用し河合の伝統産業である山中和紙等の商品開発・販売方法や集客の検討・販売後の利益分配までを大人のサポートのもと学んでいます。

この活動を通して、各児童が自分の可能性や強みに気づき、自分から動くことのやりがいや楽しさを感じてくれることを願っています。



地域資源を使った商品開発等に取り組む様子

問 学校教育課 ☎0577-73-7494



キンモクセイ

街を歩いていて、風に乗ってキンモクセイの良い香りが漂うと思わずそちらを振り返ってしまいます。

毎年この時期、楽しみにしている香りのひとつです。昔はキンモクセイといえばトイレの芳香剤の代表格だったので、今でもイメージが良くない人が多いのですが、自然のキンモクセイの花の数軒隣くらいまで漂う甘い香りは、いつまでもそこにいたくなるような気持ちにさせてくれます。そんなキンモクセイは空気の汚いところでは花をつけなくなるそ

うです。この花の香りがしたら空気が綺麗なのだと思えますね。

キンモクセイの花は、そのままはもちろん、乾燥しても良い香りがします。そのため中国では桂花茶というお茶になっています。また、台湾から花を麦芽糖に漬け込んだ甘味料をもらったことがあります。どちらもこの良い香りをうまく利用していますね。

このキンモクセイの小さくかわいらしい花は時期が経つと落ちて、まるで雪の粒のように散らばるのですが、花を活用するなら樹に残っているうちに採取しましょう。香りが強く残ります。

キンモクセイの花には芳香性健胃、精神安定作用があり、胃炎、腸炎、低血圧、頭痛、不眠に効果があります。花を氷砂糖と一緒にホワイトリカーに漬けてみましたが、香り高い美味しいお酒ができました。毎

晩少しずつ飲んでいると疲れが取れ、気持ちが落ち着きます。

枝葉は乾燥させて浴湯料とすると、神経痛、リウマチ、筋肉痛に効果があり、その際に花も一緒に風呂に入れるとリラックスできていいですね。



効能	芳香性健胃、精神安定、不眠など
採取先	市街地など

問 地域振興課 ☎0577-62-8904

こんにちは 市民病院です

オンライン面会できます

飛騨市民病院 看護部

入院患者さんにとって、ご家族や親しい方との面会は、不安や心配を和らげ心の支えになり入院生活に前向きになることができます。

新型コロナウイルス感染症の流行により、高齢者や基礎疾患を抱えている方が感染すると重篤化するとされており、感染拡大のリスクもあることから、現在当院では面会を禁止しております。しかし、患者さんから「顔を見たり、声が聞きたい」、ご家族からは「会えないので状態を知りたい」「表情や様子をみ

たり、声を聞いて安心したい」などの声が寄せられ互いのコミュニケーションがとれないことで、患者さん・ご家族が双方に大きなストレスを抱えていることがわかりました。

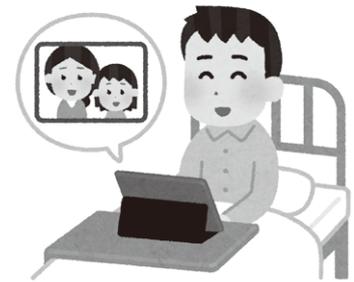
当初はなんとか患者さんの様子をご家族に伝えようと患者さんの言葉を伝えたり、本人の携帯電話やスマホの動画で声や様子を伝えていましたが、これを機にタブレットを導入して大きな画面越しでのオンライン面会を始めました。画面が大きいので顔の表情や声の感じがわかり、そばにいたような感覚でお話をされています。何より患者さんの表情に明るさや活気が出て入院生活に意欲がわいてくるのがわかりました。双方で話しができることでコミュニケーションがはかりやすいため、「安心した」「また会いたい」「嬉しかった」などの声をいただいています。治療や看護は私たち医療スタッフが

行いますが、心のケアはご家族の力が大きいと実感しております。

面会の日時は限られていますがオンライン面会を希望される方は病院までご連絡ください。

【面会日時】

1病棟 水曜日
14:00~15:00
2病棟 火曜日
14:00~15:00
一回あたり5分程度



問 飛騨市民病院
☎ 0578-82-1150



そろそろ 終活

<その18> はじめませんか？

その写真は残す？

身の回りの整理の中で、比較的手をつけやすいのが写真整理ですが、いざ始めたのはいいけれど、思った以上に量が多かったり、思い出に浸ってしまったりと、なかなか作業が進まない方も多くおられます。写真やアルバムの整理は、時間がかかり根気のいる作業です。

さて、終活における写真整理には、『遺族の負担を軽くする』『自分の生きた証を遺す』といった意味があります。では、遺族が故人を偲び、写真を大切に保管してもらうた

めには、どのように整理したらよいでしょうか。

ポイントは大きく3つです。

①体力があるうちに仕分ける

老化や病気で体力が衰えると写真の判別も正しくできなくなる可能性があります。なるべく元気なうちに取り掛かりましょう。また一緒に行ってくれる家族がいれば、思い出を語りながら楽しんで整理してみてください。まずは一カ所に写真をまとめて、残したい写真か処分する写真を判断します。その場合、似たような写真は省いていき、誰かに見ってもらうことを意識して写りの良いものを選びましょう。出来れば『自分らしさ』が伝わる写真を優先すると良いですね。

②いつでも見られるようにする

選び抜いた写真は、1冊のポケットアルバムにまとめます。この時、ある程度大まかに年代別に順にして

納めていくと、後で見返す時にも都合がよいでしょう。万が一、介護施設などに入所することになったとしても、1冊にまとまっていれば、気軽に持って行くこともできます。

③残りの写真はデジタル化する

アルバムに収めきれなかった写真や、処分することがためられる写真は、データ化することをおすすめします。自分でできなければ、そういった専門業者もあります。

大切な写真をいつまでも残したいと思われるなら、終活のひとつとして早目に整理してみませんか。

終活巡回相談日（要予約）

■ 10月29日（金）

河合振興事務所 9:00~12:00

宮川町公民館 13:00~16:00

問 予 飛騨市終活支援センター
（飛騨市社会福祉協議会内）

☎ 0577-73-3214